

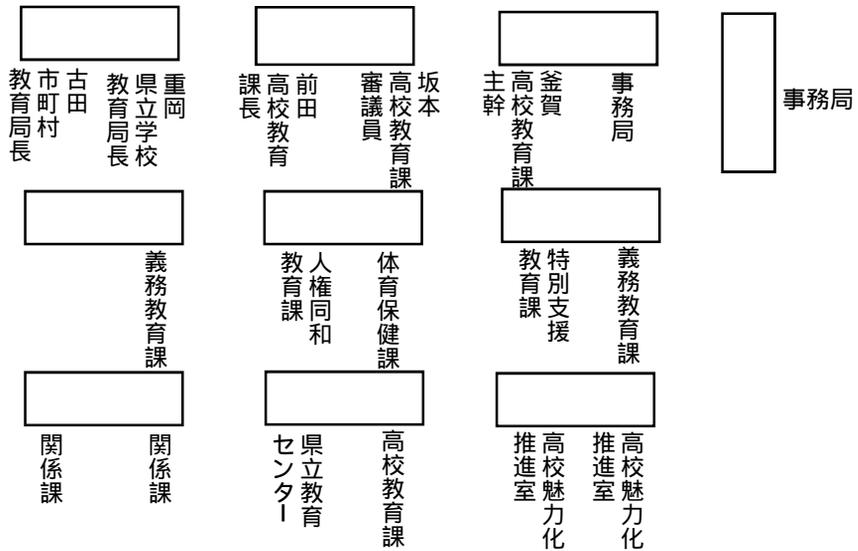
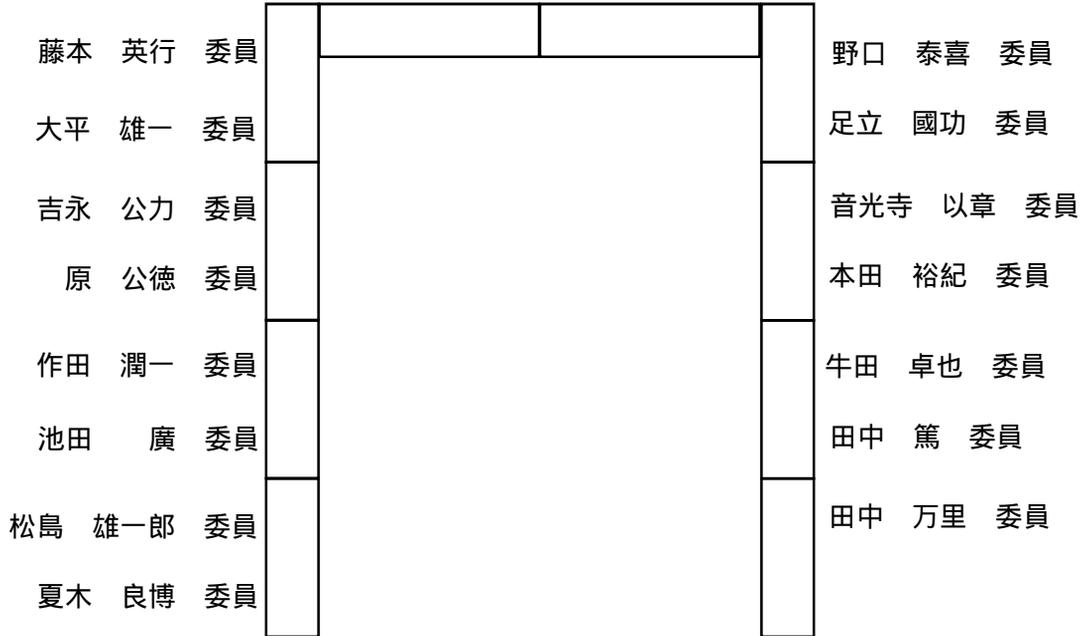
第4回県立高等学校入学者選抜制度検討委員会 会議次第

令和4年(2022年)7月25日(月)10:00~
県庁新館2階 職員研修室

- 1 開会
- 2 出席者紹介
- 3 日程説明
- 4 会議の公開・非公開について
- 5 議事
 - (1) 第3回県立高等学校入学者選抜制度検討委員会の論点整理等について
 - (2) 入学者選抜制度の今後の方向性について
- 6 事務連絡
- 7 閉会

第4回県立高等学校入学者選抜制度検討委員会 座席表

出川 聖尚子 副会長 八幡 英幸 会長



傍 聴 席 (10脚)

記 者 席 (10脚)

県立高等学校入学者選抜制度検討委員会 委員一覧

	区 分	氏 名	役 職	新規 継続
1	学識経験者	八幡 英幸	学識経験者（熊本大学 理事）	継続
2		出川 聖尚子	学識経験者（熊本学園大学 社会福祉学部 教授）	継続
3	各種団体 関係者等	野口 泰喜	熊本県人権擁護委員連合会会長	継続
4		藤本 英行	熊本日日新聞社編集委員兼論説委員	新規
5		足立 國功	熊本県産業教育振興会会長	継続
6	議会・行政 関係者	大平 雄一	熊本県議会教育警察常任委員会委員長	新規
7		音光寺 以章	熊本県都市教育長協議会会長	新規
8		吉永 公力	熊本県町村教育長会会長	継続
9	学校教育 関係者	本田 裕紀	熊本県小学校長会会長	新規
10		原 公德	熊本県中学校長会会長	新規
11		作田 潤一	熊本県中学校長会副会長	新規
12		牛田 卓也	熊本県公立高等学校長会会長	継続
13		田中 篤	熊本県公立高等学校長会教育課題委員会委員長	新規
14		池田 廣	熊本県私立中学高等学校協会会長	継続
15		田中 万里	熊本県PTA連合会会長	継続
16		松島 雄一郎	熊本市PTA協議会会長	継続
17		夏木 良博	熊本県公立高等学校PTA連合会会長	継続

県立高等学校入学者選抜制度検討委員会 関係者一覧

	氏名	役職
1	重岡 忠希	県立学校教育局長
2	古田 亮	市町村教育局長
3	竹中 千尋	教育政策課長
4	前田 浩志	高校教育課長
5	宮本 信高	特別支援教育課長
6	平江 公一	体育保健課長
7	藤岡 寛成	義務教育課長
8	柳田 壽昭	人権同和教育課長
9	永田 健吾	高校魅力化推進室長
10	坂本 憲昭	高校教育課審議員
11	米村 祐輔	高校教育課審議員
12	井手 正直	義務教育課審議員
13	中川 正利	県立教育センター審議員
14	釜賀 健司	高校教育課主幹
15	佃 隆樹	高校教育課指導主事
16	津ヶ原 しおり	高校教育課指導主事
17	工木 三恵	高校教育課指導主事

県立高等学校入学者選抜制度検討委員会設置要項

(目的及び設置)

第1条 入学者選抜制度の在り方等について検討するため、「県立高等学校入学者選抜制度検討委員会」(以下「検討委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 検討委員会は、熊本県教育長(以下「教育長」という。)の依頼により次に掲げる事項について協議する。

- (1) 入学者選抜制度の改善について
- (2) その他、入学者選抜に関することについて

2 検討委員会は、協議の結果を取りまとめ教育長に報告する。

(組織)

第3条 検討委員会は、委員16名程度で組織する。

(委員)

第4条 委員は、次に掲げる者のうちから教育長が就任を依頼する。

- (1) 学識経験者
- (2) 各種団体関係者
- (3) 議会・行政関係者
- (4) 学校教育関係者
- (5) 前4号に掲げる者のほか、教育長が必要と認める者

2 委員の任期は、委嘱した日から令和4年(2022年)3月31日までとする。ただし、審議が令和3年度(2021年度)中に終了しない場合は、1年間任期を延長できるものとする。

3 委員に欠員が生じたときは、補充することができる。

(会長及び副会長)

第5条 検討委員会に会長1名及び副会長1名を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、議事その他の会務を総理し、検討委員会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。

(会議)

第6条 検討委員会は、会長が招集する。

2 検討委員会は、委員の過半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 検討委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(意見の収集)

第7条 会長は、必要があるときは、検討委員会に委員以外の者の出席を求め、その意見又は説明を求めることができる。

(庶務)

第8条 検討委員会の庶務は、熊本県教育庁県立学校教育局高校教育課において処理する。

(雑則)

第9条 この要項に定めるもののほか、検討委員会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

附 則

この要項は、令和3年(2021年)8月27日から施行する。

熊本県立高等学校入学者選抜制度検討委員会運営要領

熊本県立高等学校入学者選抜制度検討委員会の会議（以下「検討委員会」という。）に関する事務手続等については、この要領に定めるもののほか、熊本県立高等学校入学者選抜制度検討委員会設置要項（令和3年8月27日施行）、「審議会等の会議の公開に関する指針」（平成10年12月11日熊本県知事決定）及び「審議会等の会議の公開に関する指針の運用と解釈」の定めるところによる。

1 会議開催の周知等

(1) 検討委員会を開催するに当たっては、当該会議の開催日の1週間前までに次の事項を熊本県公報に登載するものとする。ただし、緊急に開催する場合は、この限りではない。

ア 日時

イ 場所

ウ 議題

エ 傍聴者の定員

オ 傍聴手続

カ 問合せ先

キ その他必要な事項

(2) 県公報への登載のほか、会議の開催日時、場所、議題等について、報道機関へ事前に情報を提供するものとする。

2 書面による議決

(1) 緊急その他やむを得ない事情のある場合は、会長の認めるところにより、事案の概要を記載した書面を委員に送付することにより賛否を問い、その結果をもって検討委員会の議決とすることができるほか、意見を徴することができる。

(2) 前項の場合において、会長は、その議決に係る事項を次に招集する会議において報告しなければならない。

3 会議へのWeb会議システムを利用した出席

(1) 委員は、会長が認めるときは、Web会議システム（映像と音声の送受信により相手の状態を相互に認識しながら通話をすることができるシステムをいう。以下同じ。）を利用して会議に出席することができる。この場合において、Web会議システムによる出席は、県立高等学校入学者選抜制度検討委員会設置要項第6条第2項に規定する出席に含めるものとする。Web会議システムの利用において、映像を送受信できなくなった場合であっても、音声即時に他の委員に伝わり、適時的確な意見表明を委員相互で行うことができるときも同様とする。

(2) Web会議システムを利用する委員が、映像のみならず音声を継続的に送受信できなくなった場合には、音声を継続的に送受信できなくなった時刻から、県立高等学校入学

者選抜制度検討委員会設置要項第6条第2項に規定する出席に含めないものとする。

- (3) Web会議システムによる検討委員会の出席は、できる限り静寂な個室その他これに類する施設で行うこととし、Web会議システムにより会議に出席する委員は、その映像及び音声を委員以外の者に視聴させてはならない。

4 傍聴の手続等

- (1) 傍聴の基本的な事項は、熊本県教育委員会会議傍聴人規則（平成13年11月21日教育委員会規則第6号。以下「傍聴人規則」という。）の規定を準用するものとする。
- (2) 傍聴受付は、会議開始30分前から行い、傍聴人受付簿（様式第1号）に住所及び氏名を記入した傍聴希望者に傍聴整理券を配付する。
- (3) 会議開始10分前に、傍聴整理券と引き換えに傍聴券（様式第2号）を交付する。ただし、傍聴希望者が定員を超えるときは、会議開始10分前に受付を終了し、抽選により傍聴人を決定する。傍聴希望者が定員に満たないときは、定員に達するまで、先着順に受付を行い傍聴券を交付する。
- (4) 傍聴人規則第2条第1項ただし書に規定する「報道関係者で会長が特に認める者」とは、熊本県政記者会に加盟する報道機関の記者等とし、名刺等で確認するものとする。
- (5) 係員は、傍聴人に対し、傍聴人規則第4条に規定する事項を遵守するよう指示する。
- (6) 傍聴人規則第4条第6号ただし書の会長の許可は、原則として熊本県政記者会に加盟する報道機関の記者等に対して行うものとする。
- (7) 傍聴人に対し、非公開とされた部分を除き会議資料を配付する。

5 会議の公開・非公開の決定

- (1) 審議事項等についての会議の公開の可否は、原則として会議の冒頭において議決する。
- (2) 非公開とされた事項は、原則として、公開とされた事項の審議等が終了した後に審議する。

6 議事録の記載方法等

- (1) 議事録は会議の公開・非公開にかかわらず、会議の概要を記載する。
- (2) 公開とされた会議の会議資料及び議事録は、情報プラザにおいて閲覧に供するものとする。
- (3) 非公開とされた会議の会議資料についても、会議での開示・不開示の決定に従い、開示とされた部分を情報プラザにおいて閲覧に供するものとする。

附 則

この要領は、令和3年10月8日から施行する。

第3回県立高等学校入学選抜制度検討委員会の論点について

第3回の観点	中学校の現状について	<p>不合格体験は中学生にとって精神的な負担が大き。</p> <p>合格した生徒と合格していない生徒が混在することで、授業態度等の学校生活に影響する場合がある。</p> <p>子ども達が自分の能力、適性、意欲に応じたきちんとした学校選択をしているか疑問がある。</p> <p>子ども達の選択の幅が広がるような多様な能力、適性、意欲が評価される選抜制度が必要ではないか。</p> <p>専門性や進学などの学校の特色や卒業後の進路を踏まえた受検先の選択ができることが重要ではないか。</p> <p>スクール・ミッションやスクール・ポリシーを反映し、学校の特色に応じた生徒を選抜できることが大事ではないか。</p> <p>教員の負担が子ども達に影響することから、負担軽減は重要な視点ではないか。</p> <p>定員割れの改善及び定員割れが加速しない制度設計が必要ではないか。</p> <p>学校の魅力化は並行して進めていくべきではないか。</p>
	入試日程について	<p>学習保障を第一に、子ども達が中学校生活を最後まで充実して過ごせるような実施時期を検討すべきではないか。</p> <p>入試日程を一本化する方向性がよいのではないか。</p>
質問事項	千葉県 の 制度変更及び周知の期間について	

各都道府県の入学者選抜のパターンについて

パターン	例	名称の例	割合の例	方法と割合のイメージ	→100%	当課による分析
1 本県現行	長崎(類似)	前期(特色)選抜 後期(一般)選抜	上限50(熊本市以外は上限70)% 30~50%が多い	例:前期(特色)選抜50 (熊本市以外は上限70)% 後期(一般)選抜 (30~50%のところが多い)		○複数の受験機会が得られる。(ただし、本県の場合、全ての学科等ではない) ■前期選抜の趣旨を踏まえた検査問題の作成が求められ、作成する各学校に一定程度の負担がかかる。 ■不合格者へのケアが重要。 ■受験期間の長期化により、授業時間が十分確保しにくい。
2 推薦入試	福岡、大分、宮崎、沖縄等	推薦入試 一般入試	例:20% 例:80%	推薦入試 (10~50%のところが多い) 一般入試 (50~90%のところが多い)		○複数の受験機会が得られる。 ○学校は推薦要件を示すことで求める生徒を募集でき、生徒はより適性を生かした受験ができる。 ■推薦入試の趣旨を踏まえた検査問題の作成が求められ、作成する各学校に一定程度の負担がかかる。 ■不合格者へのケアが重要。 ■受験期間の長期化により、授業時間が十分確保しにくい。 ■評定平均等の一定の基準はあるものの、学校によっては高倍率になり、多くの不合格者が出る可能性がある。
3 一般入試のみ	千葉、埼玉、神奈川等	本検査	100%	例:本検査100%		○授業時間の確保ができる。 ○受験機会を一本化することで不合格体験による負担が少ない。 ■受験機会の減少による受験生の不安(進路決定への精神的負担など) ■1日に5教科の検査を実施する場合、受験生の体力的・精神的負担が懸念される。
4 同一日程で複数の選考	青森、宮城、静岡等	選考① ----- 選考②	学力検査重視 50~90%が多い 特色重視 10~50%が多い	選考①学力検査重視 (50~90%が多い) 選考②特色重視 (10~50%が多い)		○授業時間の確保ができる。 ○受験機会を一本化することで不合格体験による負担が少ない。 ○学力と特色という二つの基準で選考されるため、実質的な複数回受験となる。 ■受験機会の減少による受験生の不安(進路決定への精神的負担など) ■1日に5教科の検査を実施する場合、受験生の体力的・精神的負担が懸念される。
5 スポーツ芸術 + 同一日程で複数の選考	佐賀	スポーツ文化芸術特別選抜(指定校のみ) ----- 一般選抜選考① ----- 一般選抜選考②	10~50%程度 学力検査重視 50~90%が多い 特色重視 10~50%が多い	特別選抜10~50%程度 選考①学力検査重視 (50~90%が多い) 選考②特色重視 (10~50%が多い)		○複数の受験機会が得られる。 ○受験方法の選択肢が多い(各自の適性を生かした受験が可能)。 ■特別選抜の趣旨を踏まえた検査問題の作成が求められ、作成する各学校に一定程度の負担がかかる。 ■不合格へのケアが重要。 ■学科に関わらず、特定分野の実績等が重視される懸念。

【資料3】大分県「令和4年度大分県立高等学校入学者選抜実施要項」より

第6 推薦入学者選抜

[募集人員と選抜の資料等]

選抜方法	推薦入試 A	推薦入試 B		
		普通科・専門学科 (久住高原農業高等学校農業科を除く)	久住高原農業高等学校農業科	総合学科
募集人員	当該学科の入学定員の50%～100%の範囲で、学校ごとに定める。	入学定員の20%以内で、学校ごとに定める。	入学定員の50%以内で、学校が定める。 そのうち、全国募集により県外から志願する者については入学定員の30%程度とする。	入学定員の30%以内で、学校ごとに定める。
選 抜 の 資 料	調査書	○	○	
	推薦書	○	○	
	適性検査	○	—	
	面接	○	○	
	小論文	○	△	
出願期間	1月18日(火)～1月21日(金)			
検 査 日 程	適性検査		—	
	面接	2月1日(火)	2月1日(火)・2月2日(水)	
	小論文	2月2日(水)		
合格内定の通知	2月2日(水)・2月3日(木)			
合格者発表	3月11日(金)			

(注) ○ 資料とする又は実施する。 — 資料としない又は実施しない。 △ 必要に応じて実施する。
・ 爽風館高等学校については、別に定める。(pp.22-25 参照)

推薦入試 A

1 実施学科

別府翔青高等学校グローバルコミュニケーション科
大分舞鶴高等学校理数科
芸術緑丘高等学校音楽科・美術科

2 募集

(1) 募集人員

当該学科の入学定員の50%～100%の範囲で、学校ごとに定める。(別表1)

(2) 推薦要件

次の各項の全てに該当する者で、詳細は学校ごとに定める。

- ア 当該学科を志願する動機、理由が明白かつ適切である者
- イ 当該学科に対する適性及び興味・関心を有する者
- ウ 調査書の各記録が、当該学科を志願するにふさわしい者

推薦入試 B

1 実施学科

推薦入試A実施学科及び爽風館高等学校を除く全ての学科で実施する。

(別表1)

2 募集

(1) 募集人員

① 普通科・専門学科は、入学定員の20%以内で、学校ごとに定める。

ただし、久住高原農業高等学校農業科については、入学定員の50%以内で、学校が定める。そのうち、全国募集により県外から志願する者（以下「全国募集志願者」という。）については、入学定員の30%程度（以下「全国募集枠」という。）とする。

② 総合学科は、入学定員の30%以内で、学校ごとに定める。

(別表1)

(2) 推薦要件

スポーツ活動、文化活動、その他の活動において成果を収めた者等で、詳細は学校ごとに定める。

(別表1)

3 出願

(1) 出願は1校（併設定時制及び分校は1校とみなす）・1学科に限るものとする。

(2) 職業に関する同一大学科内に二つ以上の学科が設置されている高等学校においては、職業に関する同一大学科内における第2志望を認める。

4 願書等提出期間

令和4年1月18日（火） ～ 令和4年1月21日（金）

- ・ 受付は午前9時から午後4時までとする。ただし、提出最終日は午前9時から正午までとする。
- ・ 郵送の場合は「書留」とし、提出期間内に**必着**のこと。

5 出願手続

(1) 志願者の行う手続

志願者は、次の表に示す関係書類を在籍又は出身中学校長を経て、提出期間内に志願先の高等学校長に提出しなければならない。

高等学校	入学定員に対する募集人員の割合	推 薦 要 件	小論文	適性検査
別府翔青	普通科 15%以内 専門学科 20%以内	本校への入学を強く希望し、本校の教育課程を修得する見込みのある者で、次の各項の全てに該当する者 1. 学習意欲が旺盛で、当該学科を志願する動機、理由が明白かつ適切である者 2. スポーツ活動、文化活動、生徒会活動、ボランティア活動等に積極的に取り組んだ者で、本校の活性化に貢献する意志のある者	○	
	グローバル コミュニケーション科 75%以内	本校への入学を強く希望し、本校の教育課程を修得する見込みのある者で、次の各項のいずれかに該当する者 1. 学習意欲が旺盛で、国際理解や外国語の学習に対する意欲と適性を持つ者 2. 保護者の海外在住に伴い、中学における海外在学期間が継続1年以上の者（調査書に記入の必要あり）	○	○
大分上野丘	6%以内	次の各項目の全てに該当する者 1. スポーツ活動、文化活動、その他の活動を継続的に行い、顕著な成果を収めた者 2. 本校を志望する動機、理由が明白かつ適切であり、入学後も本校の活性化に期待ができる者 3. 人物に優れ、学習意欲が旺盛で、本校の教育課程を修得する見込みがある者 ただし、1については下記のそれぞれのいずれかに該当する者 (スポーツ活動) ① 全国大会・九州地区大会またはそれに準ずる大会に出場した者 ② 県大会でベスト4以上の成績を収めた者 (①、②ともに団体種目の場合、正選手として活躍した者) ③ ①、②には該当しないが、その活動が優れていたと認められる者 (文化活動) ① 全国または九州地区レベルの大会で優秀な成績を収めた者 ② 県レベルの大会で1位または2位に相当する成績を収めた者 (①、②ともに団体種目の場合、団体の中心メンバーとして活躍した者) ③ ①、②には該当しないが、その活動が優れていたと認められる者 (その他の活動) ① 生徒会活動・ボランティア活動等に積極的かつ継続的に取り組み、顕著な成果を収めた者	○	
大分舞鶴 (普通科)	13%以内	本校を志望する動機及び理由が明確かつ適切であり、人物が優れているとともに本校の教育課程を修得し得る見込みのある者で、次のいずれかの項目に該当する者 1. スポーツ活動、文化活動において、継続的に努力し優れた成果を収めた者または優れた能力を有する者 2. 生徒会活動やボランティア活動等に積極的かつ継続的に取り組んだ者で、今後もリーダーシップを発揮することが期待できる者	○	
(理数科)	50%以内	次の各項のすべてに該当する者 1. 理数科に対する理解と適性を有し、志望の動機・理由が明確である者 2. 最先端で高度な科学に対する好奇心が強く、課題研究や国内外の科学交流など探究活動に主体的に取り組む意欲のある者 3. 理数科での学びを活かし、将来、理工農学系の研究者や技術者、医歯薬系の専門職などとして、未来を創造する高い志のある者	○	○
大分雄城台	13%以内	以下の全ての要件を備えていること 1. 単位制普通科高校としての本校への入学を強く希望し、学習意欲が旺盛で、本校の教育課程を修得し得る見込みのあること 2. 基本的な生活習慣が確立され、人物が優れていること 3. 生徒会活動、スポーツ活動、文化活動、奉仕活動等で十分な成果を収めており、本校における活動で活躍が期待できること	○	

高等学校	入学定員に対する募集人員の割合	推薦要件	小論文	適性検査
大分南 (普通科)	20%以内	<p>基本的な生活習慣が確立され、本校で学ぶことに強い意欲を持ち、かつ学業を修得できる見込みがある者で、次の各項のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツ活動、文化活動において優れた能力を有し、将来性が高いと認められ、本校において更に活躍が期待できる者 2. 生徒会活動やボランティア活動等に積極的に参加した者で、今後リーダーとしての活躍が期待できる者 	○	
(福祉科)	20%以内	<p>社会福祉に興味・関心を有し、基本的な生活習慣が確立され、本校で学ぶことに強い意欲を持ち、かつ学業を修得できる見込みがある者で、次の各項のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉関連の職業を志す者 2. 社会福祉体験活動やボランティア活動等に積極的に参加した者 3. スポーツ活動、文化活動、生徒会活動等に積極的に取り組み、本校において更に活躍が期待できる者 	○	
大分豊府	6%以内	<p>次の項目のすべてに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本校の教育内容を理解し、入学への意志を強く持ち、入学後本校の活性化に寄与することが期待される者 2. 学習意欲に富み、本校の教育課程を修得できる見込みがあり、人物が優れている者 3. スポーツ活動、文化活動、生徒会活動等のいずれかに積極的かつ継続的に取り組み、優れた成果を収めた者 	○	
大分工業	20%以内	<p>本校・学科を志望する明確な動機、理由および適性を有し、本校の教育課程を修得し得る見込みがある者の内、次の1、2のいずれかの要件に該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツ活動、文化活動、ものづくり等の科学技術活動、その他の活動に積極的に取り組み、成果を収めた者で、入学後もその活動を活かし、充実した学校生活を送ろうとする意志のある者 2. 当該学科で修得する知識・技術・資格を活かし、将来地域はもとより広く産業の振興・発展に寄与しようとする意志のある者 	○	
大分商業	20%以内	<p>志望理由が明白で、次の各項のすべてに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中学校において、文化活動・スポーツ活動・その他の活動で熱心に活動した者で、本校の既存の部活動等で活躍が期待できる者 2. 当該学科に対する適性及び興味・関心を持ち、学習意欲に富み、本校の教育課程を修得する見込みがある者 	○	
芸術緑丘 (音楽科)	100%	<p>次の各項のすべてに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 調査書等の記載事項が本校を志望するにふさわしく、志望理由が明確な者 2. 音楽への適性を有し、本校の教育課程を習得する見込みのある者 3. 音楽への幅広い興味・関心を有し、深く学びたいという意欲のある者 	○	○
(美術科)	100%	<p>次の各項のすべてに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 調査書等の記載事項が本校を志望するにふさわしく、志望理由が明確な者 2. 美術への適性を有し、本校の教育課程を習得する見込みのある者 3. 美術への幅広い興味・関心を有し、深く学びたいという意欲のある者 	○	○
大分西	25%以内	<p>次の二つの要件1、2をとともに満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本校の教育目標を理解し、志望の動機、理由が明確である者 2. 下記の①～④のいずれかに該当し、本校の教育課程を修得する見込みがある者 <ol style="list-style-type: none"> ① スポーツ活動に優れた実績を残し、その成果を本校においても向上、発展させようとする者 ② 文化活動、生徒会活動等に優れた実績を残し、その成果を本校においても向上、発展させようとする者 ③ 本校の総合学科の特性に照らして、優れた資質を有し、その資質を本校においても向上、発展させようとする者 ④ 保護者の海外在住の結果として、中学における海外在学期間が継続1年程度又はそれ以上である者（調査書に記載の必要あり） 	○	

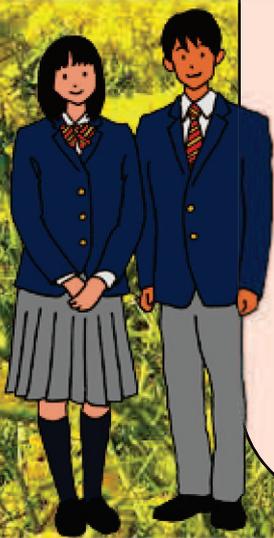
高校入試が変わります

現在、2回（前期・後期）
実施している高校入試が、
平成33年度（2021年度）の
入学者から1回となります。



主な変更点

- 「前期選抜」と「後期選抜」を1回にまとめて実施します。
- 学力検査を2日間で実施します。
- 受検機会を保障するため追検査を設けます。
- 英語（リスニングテストを含む）の学力検査を60分で行います。
- 定時制の課程の学力検査は5教科又は3教科で実施します。
- 海外帰国生徒の特別入学者選抜の学力検査は3教科となります。



千葉県教育委員会
平成31年3月

平成33年度（2021年度）の 入学者から対象となります。

多様な能力・適性・努力の成果等の優れた面を多元的に評価できる
選抜とします。



◆ 一般入学者選抜

- 検査日：2月下旬に2日間で実施します。
- 検査内容：第1日 国語(50分) (聞き取り検査を含む)・数学(50分)・英語(60分) (リスニングテストを含む)
第2日 理科(50分)・社会(50分)
各高等学校が定める検査

※各高等学校が定める検査については、【面接、集団討論、自己表現、作文、小論文、適性検査、
学校独自問題、その他の検査】のうちから一つ以上を実施します。

※定時制の課程の学力検査は5教科又は3教科で実施します。(教科数は各高等学校が定めます。)

◆ 特別入学者選抜

(1) 海外帰国生徒の特別入学者選抜

- 検査日：一般入学者選抜の第1日に実施します。
- 検査内容：国語(50分) (聞き取り検査を含む)・数学(50分)・英語(60分) (リスニングテストを含む)
各高等学校が定める検査

(2) 外国人の特別入学者選抜、中国等帰国生徒の特別入学者選抜、成人の特別入学者選抜

- 検査日：一般入学者選抜の第1日の午後に実施します。
- 検査内容：面接及び作文 (外国人の特別入学者選抜は、いずれも英語又は日本語によります。)

(3) 連携型高等学校の特別入学者選抜

- 検査日：一般入学者選抜と同じ日程を基本として実施します。
- 検査内容：連携型高等学校が定めます。

◆ 地域連携アクティブスクールの入学者選抜、通信制の課程の一期入学者選抜

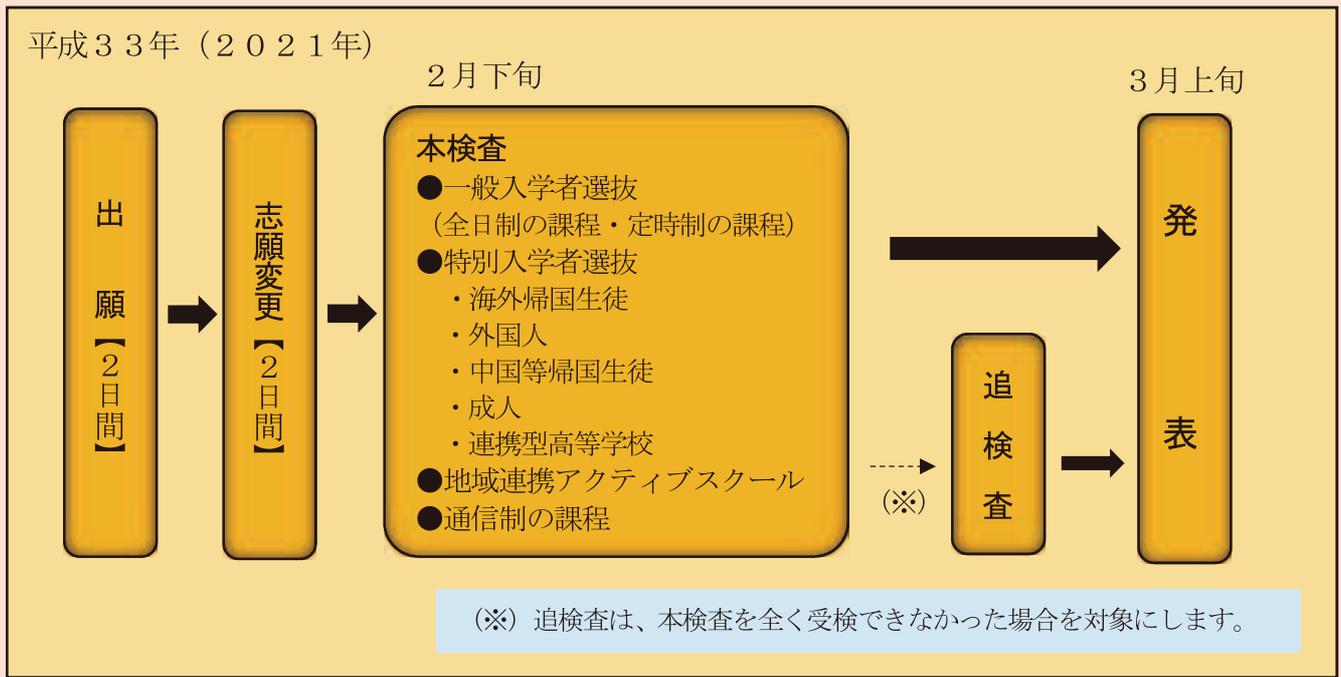
- 検査日：一般入学者選抜と同じ日程を基本として実施します。
- 検査内容：地域連携アクティブスクールの入学者選抜は、各高等学校が定めます。
通信制の課程の一期入学者選抜は、現行の内容(面接、作文)に準じて実施します。

◆ 追検査

- 対象者：本検査を全く受検できなかった場合が対象となります。
- 検査日：本検査と発表日の間に1日で実施します。
- 検査内容：本検査に準じて実施します。
- 検査場所：志願した高等学校で実施します。
- 発表日：本検査の結果と併せて同じ日に発表します。



1 平成33年度（2021年度）入学者選抜の日程及び流れ



平成33年度（2021年度）入学者選抜の日程は、平成31年12月ころ決まる予定です。

2 入学者選抜の検査時間割の例

一般入学者選抜（全日制の課程）

第1日		第2日	
9:30	集 合	9:30	集 合
9:30～ 9:40	受付・点呼	9:30～ 9:40	受付・点呼
9:40～ 9:55	注意事項伝達	9:40～ 9:55	注意事項伝達
10:10～ 11:00	国 語 (聞き取り検査を含む)	10:10～ 11:00	理 科
11:20～ 12:10	数 学	11:20～ 12:10	社 会
12:10～ 12:55	昼食・休憩	12:10～ 12:55	昼食・休憩
13:05～ 14:05	英 語 (リスニングテストを含む)	13:05～ 16:30	各高等学校が定める検査 (面接、作文等)



3 選抜方法について

一般入学者選抜は、「調査書の評定の全学年の合計値及びその他の記載事項」、「学力検査の成績」、「各高等学校において実施した検査の結果」等を資料とし、各高等学校が総合的に判定して入学者の選抜を行います。

平成33年度入試 Q&A (2021年度)



Q 「入学者選抜」を一本化する事で何が変わるのですか。

A

「前期選抜」と「後期選抜」を1回にまとめることで、中学校での授業時間が増え、学校生活がより充実したものになります。

Q 志願変更をすることはできますか。

A

各高等学校の出願状況発表後、2日間、志願変更ができます。

Q 「選抜」は、どのように行われるのですか。

A

選抜に用いる資料や選抜の手順等を各高等学校が「選抜・評価方法」として公表し、それに基づいて選抜を行います。

Q 「追検査」はどのようなときに受検することができるのですか。

A

インフルエンザ罹患による発熱で別室での受検も困難である等、やむを得ない理由で本検査を全く受検することができなかった場合、所定の手続きにより、志願している高等学校の校長に承認を受けて受検することができます。

Q 「追検査」はどのような内容で実施されるのですか。

A

本検査に準じた内容で実施します。
一般入学者選抜については、5教科の学力検査を1日で実施します。
面接や作文などの検査の実施については、各高等学校が定めます。

Q 「調査書の扱い」はどのようになりますか。

A

調査書に記載されている評定については、評定の合計値を評価の対象とします。その他の内容については、各高等学校が公表する「選抜・評価方法」に基づいて評価します。

●問合せ先

千葉県教育庁教育振興部学習指導課

〒260-8662 千葉市中央区市場町1番1号 千葉県庁中庁舎内

電話 043-223-4056・4057

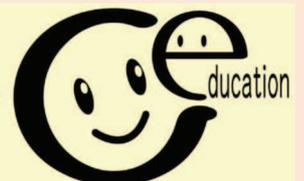
<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/>

ちば 平成33年度高校入試

検索

17

みんなで取り組む
千葉の教育



【資料5】宮城県

「令和5年度宮城県公立高等学校入学者選抜 求める生徒像・選抜方法一覧」より

学校名	宮城県白石高等学校	課程	全日制	学科 (コース・部)	普通科	募集定員	240人
求 め る 生 徒 像							
<p>本校は「志操凜風」「進取創造」「自彊不息」を校訓とし、地域の関係諸機関と連携しながら社会と関わる教育活動を通じ、心身ともに健全で、地域社会及び国家に貢献するとともにグローバルな視点に立って社会をリードできる有為な人材の育成を目指します。</p> <p>普通科では仙南地区の進学拠点校として、将来地域社会及びグローバル社会のリーダーとなり得るための資質・能力を育成します。</p> <p>そのために、進学重視型の単位制で多彩な選択科目を設定し、生徒の興味関心、能力、適正、個々の進路希望に対応した教育課程とします。</p> <p>そこで、高い学力を有し、大学を中心とした上級学校への進学を目指し、特別活動に積極的に取り組む、次の1～3の全てに当てはまる生徒を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 向学心旺盛で、日々の授業を大切にし、入学後、高い探究心をもって勉学に取り組むことができる生徒 2 5教科の学習成績が優秀で、特に国語、数学、英語の学習成績が優秀である生徒 3 特別活動(学級活動、生徒会活動、学校行事等)、スポーツ活動、文化活動、社会活動、ボランティア活動等において、集団を率いる能力や顕著な実績がある生徒 <p>特に、特色選抜においては、上記の1及び2の全てに当てはまる生徒を重視します。</p>							
第 一 次 募 集 (選 抜 方 法 等)							
選抜順序	共通選抜	➡		特色選抜	面接・実技・作文のうち実施するもの		
第2志望とすることができる 学科・コース		なし			なし		
共 通 選 抜		192人 (募集定員の80%)					
学力検査:調査書		7 : 3					
<p>学力検査点(500点満点)と調査書点(195点満点)の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は7:3とする。</p> <p>※調査書点:「5教科(国・数・社・英・理)の各学年の評定の合計」+「4教科(音・美・保体・技家)の各学年の評定の合計×2」</p>							
特 色 選 抜		48人 (募集定員の20%)					
<p>I 配点</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 調査書 270点 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国語、数学、社会、英語、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭全学年の評定を2.0倍にする 2 学力検査 650点 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国語、数学、英語...得点を1.5倍にする ・ 社会、理科.....得点を1.0倍にする <p>合計 920点</p> <p>II 選抜方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 審査は、学力検査点と調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する48人の150%の範囲に含まれる者を対象として行う。 ・ 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項(評定以外の特別活動の記録などの資料)も用いて、求める生徒像に照らして総合的に審査し、選抜する。 							
第 二 次 募 集 (選 抜 方 法 等)							
<p>I 配点</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 調査書 225点 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国語、数学、英語.....全学年の評定を1.0倍にする ・ 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭...全学年の評定を2.0倍にする 2 学力検査 300点 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国語・数学、英語(各教科100点満点) 3 面接 3段階評価(A~C) <p>合計 525点</p> <p>II 選抜方法</p> <p>上記Iを基に、総合的に審査し、選抜する。</p>					面接・実技・作文		
					<p>I 面接</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 形態 個人面接 2 時間 10分程度 3 内容 志望動機等 4 観点 態度、意志 等 		

学校名	宮城県一迫商業高等学校	課程	全日制	学科 (コース・部)	流通経済科	募集定員	40人
-----	-------------	----	-----	---------------	-------	------	-----

求める生徒像

「誠実・自律・奉仕」の校訓の下、地域社会の発展を担う職業人の育成を目指します。
地域の経済・産業界等と積極的に連携・協働する学びを通して、地域社会の発展に貢献する学校として歩みます。
そこで、次の1～4のいずれかに当てはまる生徒を求めます。

- 1 目的意識を持ち、何事にも主体的に取り組む生徒
- 2 マーケティング分野に興味関心をもち、資格取得を目指す生徒
- 3 地域社会に貢献する志のある生徒
- 4 運動や文化活動、委員会活動、ボランティア活動に積極的に取り組んでいる生徒

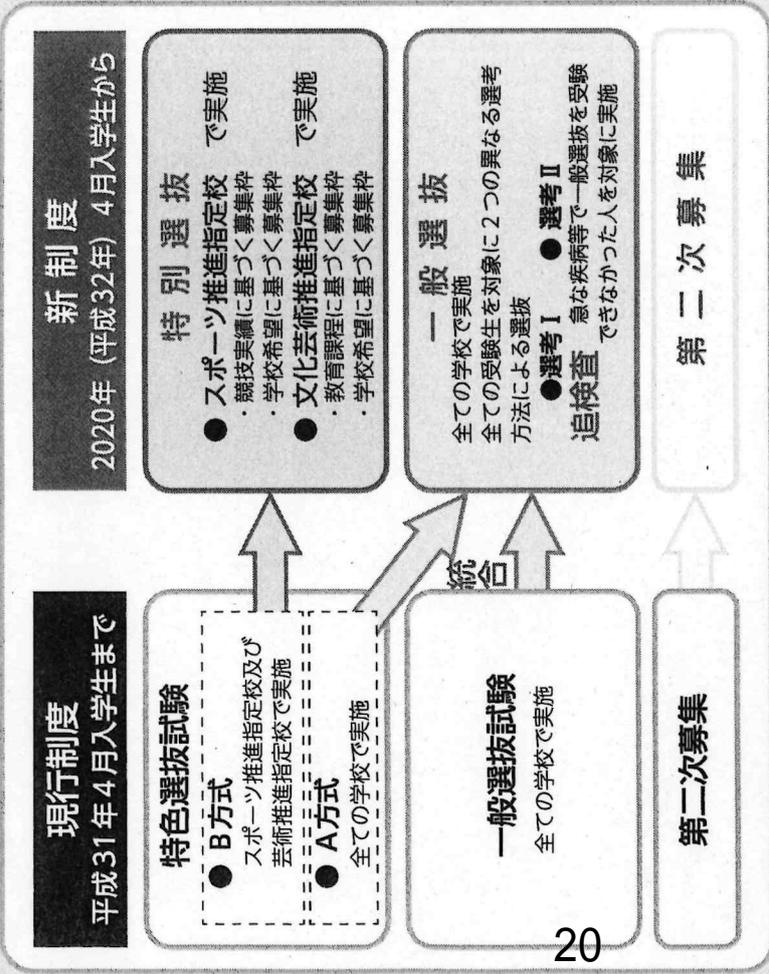
第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	特色選抜	共通選抜	面接・実技・作文のうち 実施するもの
第2志望とすることができる 学科・コース	情報処理科		面接
共通選抜		20人（募集定員の50%）	I 面接 1 形態 個人面接 2 時間 10分程度 3 内容 (1) 志望動機 (2) 進路意識 (3) 自己理解 (4) 部活動・生徒会活動等 (5) その他 4 観点 (1) 態度 20点 (2) 表現力等 80点 ※面接については、1日目に実施する。
学力検査：調査書		5 : 5	
学力検査点(500点満点)と調査書点(195点満点)の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は5:5とする。 ※調査書点:「5教科(国・数・社・英・理)の各学年の評定の合計」+「4教科(音・美・保体・技家)の各学年の評定の合計×2」			
特色選抜		20人（募集定員の50%）	
I 配点 1 調査書 195点 ・ 国語, 数学, 社会, 英語, 理科 ……全学年の評定を1.0倍にする ・ 音楽, 美術, 保健体育, 技術家庭 ……全学年の評定を2.0倍にする 2 学力検査 500点 ・ 国語, 数学, 社会, 英語, 理科 ……得点を1.0倍にする 3 面接 100点 合計 795点 II 選抜方法 ・ 審査は, 学力検査点, 調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から, 特色選抜で選抜する20人の200%の範囲に含まれる者を対象として行う。 ・ 学力検査点, 調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に, 調査書の記載事項(評定以外の特別活動の記録などの資料)も用いて, 求める生徒像に照らして総合的に審査し, 選抜する。			

第二次募集（選抜方法等）

		面接・実技・作文
I 配点 1 調査書 225点 ・ 国語, 数学, 英語 ……全学年の評定を1.0倍にする ・ 社会, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 技術家庭 ……全学年の評定を2.0倍にする 2 学力検査 300点 ・ 国語, 数学, 英語(各教科100点満点) 3 面接 100点 合計 625点 II 選抜方法 上記Iを基に, 総合的に審査し, 選抜する。		I 面接 1 形態 個人面接 2 時間 10分程度 3 内容 第一次募集と同じ 4 観点 第一次募集と同じ

2020年(平成32年)4月に高校へ入学する生徒から 県立高校の入試が変わります



新制度のポイント

- 求める生徒像や選抜基準を公表すること、全ての受験生に学力検査を課すことを継続します。
- 特別選抜において新たに学校希望に基づく募集枠を設けます。
- 特色選抜試験A方式と一般選抜試験を統合して一般選抜を実施し、その中で全ての受験生を対象に選考Ⅰと選考Ⅱの2つの選考方法により合格者を決定します。
- 急な疾病やその他やむを得ない事情により一般選抜を受験できなかった人を対象に追検査を実施します。
- 第二次募集はこれまでどおり実施します。



佐賀県教育委員会
http://www.pref.saga.lg.jp/kyouiku/default.htm



対象となる競技種目や分野が
広がるんだ!

新しい入試制度の概要

【特別選抜】

実施校 県教育委員会が指定するスポーツ推進指定校及び文化芸術推進指定校

◎ 現行の特色選抜試験B方式と同様の競技実績に基づく募集枠・教育課程に基づく募集枠に加え、新たにスポーツ・文化芸術の幅広い振興を目的として、高校の運動部の競技種目や文化部の分野を対象に、学校希望に基づく募集枠を設けます。

実施時期 2月上旬ごろ

募集人員 学校・学科ごと、競技種目・分野ごとに県教育委員会が定めます。

選抜方法 次の①～⑤を総合的に評価し、選抜します。

- ① 学力検査 … 国語、数学、英語の3教科の内容です。
- ② 実技検査 … 競技種目や分野に関係する実技検査を実施します。
(実技検査の代わりに実績評価表の内容で評価する場合があります。)
- ③ 実績評価表 … これまでの実績等が記載されたものです。
- ④ 面接
- ⑤ 調査書

◎ 学力検査、実技検査、実績評価表を合わせた評価の割合を、全体の評価のうちの50%以上とします。

【一般選抜】

実施校 全ての学校

実施時期 3月上旬ごろ

募集人員 募集定員から特別選抜の合格者数及び県立中学校からの入学予定者数を除いた人数です。

選抜方法 次の①～④を総合的に評価し、選抜します。

- ① 学力検査 … 国語、社会、数学、理科、英語の5教科です。
- ② 実技検査 … 芸術科目を重視する学科において実施します。
- ③ 面接
- ④ 調査書

◎ 2つの異なる選考方法(選考Ⅰ、選考Ⅱ)で合格者を決定します。
(右ページの「一般選抜の選抜方法(例)」を参照ください。)

- 選考Ⅰ … 学力検査の評価の割合は50～70%の範囲で学校ごとに定めます。
(選考Ⅱに比べ面接と調査書の評価の割合が高い。)
- 選考Ⅱ … 学力検査の評価の割合は70%程度とします。

※ 実技検査を実施する場合の評価の割合は別に定めます。

◎ 選考Ⅰの募集人員は募集定員の10～30%の範囲で学校ごとに定め、先に選考Ⅰによる選抜を実施し、次に選考Ⅱによる選抜を実施します。

◎ 蔵木高等学校及び太良高等学校全県募集枠や定時制の選抜方法は別に定めます。

追検査 急な疾病やその他やむを得ない事情により一般選抜を受験できなかった人を対象に追検査を実施します。

実施時期 … 3月中旬ごろ

手続 … 中学校等を通じて、受験する高校に申請します。

選抜方法 … 一般選抜に準じます。

【第二次募集】

実施校 志願者が募集定員に達しない学校で、県教育委員会が第二次募集を行う必要があると認めた場合に実施します。

実施時期 3月下旬ごろ

出願資格 原則として、一般選抜(追検査を含みます。)を受験し、合格しなかった人です。

選抜方法 次の①～④を総合的に評価し、選抜します。

- ① 学力検査 … 一般選抜における学力検査の結果を利用します。
- ② 作文 … 作文の内容は各学校で定めます。
- ③ 面接
- ④ 調査書

【通信制課程】

通信制課程の選抜については別に定めますが、基本的にこれまでどおりに行います。

一般選抜の選抜方法(例)

一般選抜の募集人員が200人の学校の1つの例です。1回の受験で、選考Iと選考IIという配点を変えた2回の選考による選抜を行うことが一般選抜の特徴です。この選抜方法について、具体例を使って説明します。

まず、全ての受験生を対象に選考Iによって、60人の合格者が決まります。次に、選考Iで60人の中に選ばれなかった受験生を対象に選考IIによって、140人の合格者が決まります。



	配点(例)	募集人員(例)	受験生Aさん	受験生Bさん
選考I	<ul style="list-style-type: none"> ・学力検査 250点 ・調査書(学習の記録) 80点 ・〃(学習の記録以外) 140点 ・面接 30点 ※ 学力検査の評価の割合 50% (250点/500点=0.5)	60人 (募集定員の30%とした場合)	選考Iで合格	選考Iでは60人の中に選ばれなかった
選考II	<ul style="list-style-type: none"> ・学力検査 250点 ・調査書(学習の記録) 50点 ・〃(学習の記録以外) 30点 ・面接 20点 ※ 学力検査の評価の割合 71.4% (250点/350点=0.7142...)	140人	選考IIで合格	

受験生Aさん・受験生Bさんともに合格

※ 選考Iと選考IIの配点や選考Iの募集人員は、学校ごとに定め、実施要項でお知らせします。

1回の受験で2つの視点から評価してもらえるのね!



Q&A

Q1 学校希望に基づく募集枠を設けるのはなぜですか。

A1 学校希望に基づく募集枠とは、現在、高校に設置されている運動部や文化部の中から学校が部活動を選び、その分野で活躍できる人を募集できるよう設けるものです。

こうすることで、新たに文化部の分野での指定が可能となるとともに、運動部の競技種目が広がり、高校のスポーツや文化芸術活動が一層盛んになることが期待されます。さらに、受験生にとっても、こうした種目や分野での特長を生かした受験ができるなど、進路選択の幅が広がることにもつながると考えています。

Q2 現行の特色選抜試験と一般選抜試験を合わせるのはなぜですか。

A2 現行の入試制度は、特色選抜試験と一般選抜試験を行うことで一人一人の受験生を複数の評価方法で選抜しているなどの特長があります。

一方、特色選抜試験A方式では、募集人員が2割程度しかないため多くの受験生に不合格体験をさせていることや、5教科ではなく3教科の学力検査を実施しているため中学校での学習活動が十分に評価されていないことなどの課題もあります。

そこで、現行制度の良い部分を残しながら、特色選抜試験A方式と一般選抜試験を合わせて、新しい一般選抜として実施することにしました。

こうすることで、受験生の心理的な負担が軽減されるとともに、中学校での授業が一層充実すると考えています。

Q3 選考Iと選考IIという2つの方法で選抜するのはなぜですか。

A3 これまでの入試では、受験生一人一人の特長を多面的に捉えるため、特色選抜試験と一般選抜試験という2つの方法で評価していました。

その良さを残し、新しい入試制度においても学力検査だけではなく、中学校での活動もいねいに評価していくために、一般選抜で全ての受験生を対象に選考Iと選考IIという2つの異なる方法で選抜を行います。

Q4 受験の準備はどのようなことをすればよいですか。

A4 新しい入試制度においても、これまでどおり学力検査の点数だけでなく、中学校での様々な活動の様子や成果もいねいに評価していきますので、中学校での勉強や学校生活にしっかりと取り組んでください。

【問合せ先】

佐賀県教育委員会 教育振興課

〒840-8570 佐賀市城内一丁目1番59号

TEL:0952-25-7476 FAX:0952-25-7409

E-mail:kyouiku-shinkou@pref.saga.lg.jp

【資料7】佐賀県「令和4年度佐賀県立高等学校入学者選抜実施要項」より

令和4年度佐賀県立高等学校入学者選抜
特別選抜の指定校について

別添2

(1) スポーツ推進指定校

「競技実績に基づく募集枠」(22校、47指定運動部、292人)

No.	学校名	指定競技名	性別	人員	備考
1	鳥栖高等学校	1 体操	男女	5人	
2	三養基高等学校	2 剣道	男女	10人	
3	神埼高等学校	3 サッカ	女	8人	
		4 カヌ	男女	3人	
4	佐賀東高等学校	5 なぎな	女	4人	
		6 サッカ	男	11人	
		7 水球	男女	7人	
		8 バスケ	男	6人	
5	佐賀北高等学校	9 バスケ	男	6人	普通科のみ
		10 バスケ	女	6人	普通科のみ
		11 陸上競技(トラック・フィールド)	女	6人	普通科のみ
6	小城高等学校	12 柔道	女	3人	
7	唐津西高等学校	13 ヨット	男女	4人	
		14 ボート	男女	4人	
8	巖木高等学校	15 アーチェリー	男女	4人	
9	白石高等学校	16 陸上競技(長距離)	男女	12人	
		17 剣道	女	4人	
10	鹿島高等学校	18 レスリング	男	5人	
		19 ソフトボール	女	9人	
11	牛津高等学校	20 ソフトボール	男	7人	
		21 なぎな	女	5人	
12	高志館高等学校	22 アーチェリー	男女	4人	
		23 ボクシング	男女	4人	
13	唐津南高等学校	24 バドミントン	男	6人	
14	伊万里実業高等学校	25 ホッケ	男女	8人	
15	鳥栖工業高等学校	26 陸上競技(長距離)	男	7人	
		27 体操	男	3人	
		28 陸上競技(トラック・フィールド)	男	5人	
		29 レスリング	男女	10人	
16	佐賀工業高等学校	30 ラグビーフットボール	男女	20人	
		31 陸上競技(トラック・フィールド)	男	7人	
17	有田工業高等学校	32 柔道	男女	8人	
		33 ウエイトリフティング	男女	3人	
18	嬉野高等学校	34 ソフトテニス	男	6人	
		35 ソフトテニス	女	4人	
19	鳥栖商業高等学校	36 バレーボール	女	6人	
		37 テニス	女	4人	
20	佐賀商業高等学校	38 柔道	男女	8人	
		39 バレーボール	男	6人	
		40 フェンシング	男女	4人	
		41 水泳	男女	8人	
		42 卓球	女	4人	
21	神埼清明高等学校	43 新体操	男	6人	
		44 ハンドボール	男	7人	
		45 ハンドボール	女	7人	
22	多久高等学校	46 山岳(クライミング)	男女	4人	
		47 相撲	男	4人	
合計				292人	

性別の欄に「男女」と示している競技種目の人員は、男女を合わせた人数である。

(2) スポーツ推進指定校

「学校希望に基づく募集枠」(29校、74指定部活動、246人)

No.	学校名	指定競技名	性別	人員	備考
1	鳥栖高等学校	1 野 球	男	4人	
2	三養基高等学校	2 野 球	男	6人	
		3 バスケットボール	男	2人	
		4 卓 球	女	2人	
3	神埼高等学校	5 野 球	男	6人	
4	佐賀東高等学校	6 野 球	男	4人	
		7 バスケットボール	女	2人	
		8 空 手 道	男 女	2人 2人	
5	佐賀北高等学校	9 野 球	男	5人	普通科のみ
		10 サ ッ カ ー	男	2人	普通科のみ
		11 柔 道	男	1人	普通科のみ
		12 新 体 操	女	1人	普通科のみ
		13 バ レ ー ボ ー ル	女	1人	普通科のみ
6	小城高等学校	14 ソ フ ト テ ニ ス	女	2人	
		15 バ ド ミ ン ト ン	女	2人	
		16 剣 道	女	2人	
7	唐津西高等学校	17 野 球	男	6人	
8	巖木高等学校	18 野 球	男	4人	西部学区枠のみ
		19 バスケットボール	女	2人	西部学区枠のみ
9	伊万里高等学校	20 野 球	男	6人	
		21 剣 道	女	3人	
10	武雄高校	22 野 球	男	6人	
		23 サ ッ カ ー	男	2人	
		24 バスケットボール	男	2人	
		25 野 球	男	6人	
11	白石高等学校	26 剣 道	男	4人	
		27 ボ ク シ ン グ	男	2人	
		28 野 球	男	6人	
12	鹿島高等学校	29 バ レ ー ボ ー ル	女	6人	
		30 野 球	男	6人	西部学区枠のみ
14	牛津高等学校	31 ソ フ ト テ ニ ス	女	2人	
15	高志館高等学校	32 野 球	男	6人	
16	唐津南高等学校	33 バ ド ミ ン ト ン	女	4人	
		34 野 球	男	6人	
17	伊万里実業高等学校	35 野 球	男	6人	
		36 陸上競技(トラック・フィールド)	女	2人	
		37 バ レ ー ボ ー ル	女	2人	
18	佐賀農業高等学校	38 サ ッ カ ー	男	5人	
		39 野 球	男	5人	
		40 ハ ン ド ボ ー ル	男	1人	
		41 柔 道	女	1人	
19	鳥栖工業高等学校	42 バスケットボール	男	2人	
		43 野 球	男	5人	
		44 柔 道	男	2人	
		45 カ ヌ ー	男	1人	
		46 ラグビーフットボール	男	1人	
20	佐賀工業高等学校	47 ソ フ ト テ ニ ス	男	2人	
		48 野 球	男	6人	
		49 バ レ ー ボ ー ル	男	2人	

21	唐津工業高等学校	50	野 球	男	5人	
		51	陸上競技(長距離)	男	1人	
		52	バスケットボール	男	2人	
		53	ソフトテニス	男	1人	
		54	サッカー	男	1人	
22	有田工業高等学校	55	野 球	男	6人	
		56	バスケットボール	男	2人	
23	嬉野高等学校	57	野 球	男	6人	
		58	サッカー	男	2人	
		59	バレーボール	女	2人	
24	鳥栖商業高等学校	60	野 球	男	6人	
		61	陸上競技(トラック・フィールド)	女	2人	
25	佐賀商業高等学校	62	サッカー	男	2人	
		63	テニス	女	1人	
		64	野 球	男	5人	
		65	剣 道	女	1人	
		66	バスケットボール	女	1人	
26	唐津商業高等学校	67	野 球	男	6人	
		68	サッカー	男	5人	
		69	剣 道	男	1人	
27	神埼清明高等学校	70	野 球	男	6人	
		71	バドミントン	男 女	2人 2人	
28	多久高等学校	72	野 球	男	6人	
29	唐津青翔高等学校	73	陸上競技(トラック・フィールド)	男 女	1人 1人	
		74	バドミントン	女	2人	
		合 計				246人

(3) 文化芸術推進指定校

「教育課程に基づく募集枠」(3校、6分野、52人)

No.	学校名	指定学科・分野名等	人 員	備 考	
1	佐賀北高等学校	1	芸 術 科 (音 楽)	4人	
		2	芸 術 科 (美 術)	8人	
		3	芸 術 科 (書 道)	4人	
2	有田工業高等学校	4	セ ラ ミ ッ ク 科	16人	
		5	デ ザ イ ン 科	16人	
3	唐津青翔高等学校	6	総合学科人文・芸術系列(美術)	4人	
合 計			52人		

(4) 文化芸術推進指定校

「学校希望に基づく募集枠」(18校、25分野、52人)

No.	学校名	指定分野名	性別	人員	備考
1	三養基高等学校	1 吹奏楽	男女	2人	
2	神埼高等学校	2 吹奏楽	男女	2人	
		3 書道	男女	2人	
3	佐賀東高等学校	4 演劇	男女	2人	
4	佐賀北高等学校	5 吹奏楽	男女	2人	普通科のみ
5	唐津西高等学校	6 吹奏楽	男女	2人	
		7 ボランティア	男女	4人	
6	巖木高等学校	8 美術	男女	2人	西部学区枠のみ
7	伊万里高等学校	9 書道	男女	3人	
8	牛津高等学校	10 ファッションクリエイティブ	男女	2人	服飾デザイン科のみ
		11 調理技術	男女	2人	食品調理科のみ
9	高志館高等学校	12 園芸クラブ	男女	2人	園芸科学科のみ
		13 食品製造クラブ	男女	2人	食品流通科のみ
		14 環境クラブ	男女	2人	環境緑地科のみ
10	伊万里実業高等学校	15 フードプロジェクト	男女	2人	フードビジネス科のみ
11	鳥栖工業高等学校	16 ロボット	男女	1人	
12	佐賀工業高等学校	17 機械科	男女	2人	機械科、機械システム科のみ
13	唐津工業高等学校	18 吹奏楽	男女	2人	
14	有田工業高等学校	19 ロボット研究	男女	2人	
		20 漫画研究	男女	2人	
15	鳥栖商業高等学校	21 吹奏楽	男女	3人	
16	佐賀商業高等学校	22 吹奏楽	男女	2人	
17	多久高等学校	23 吹奏楽	男女	2人	
18	唐津青翔高等学校	24 環境	男女	1人	
		25 商業技術	男女	2人	
合計				52人	

性別の欄に「男女」と示している競技種目の人員は、男女を合わせた人数である。